

## 1-(2) 農業経営体育成セミナーによる新規就農者育成

— 君津地域を担う農業経営者の育成を目指して —

### 1 活動のねらい

君津農業事務所では、5月29日に、令和2年度農業経営体育成セミナーを開催した。本セミナーは、新しく農業を始めた青年農業者を対象に、基本、専門、総合研修の順に3年間で段階的に研修を行い、農業経営者としての資質向上を図るものである。

### 2 課題の背景

君津地域のセミナー生は、新規参入者や離職就農者が多くを占めており、早期の技術習得と経営確立を望んでいる。また、同業者との人脈形成と先進経営体から学びたいという意欲が高い。そのため、研修を通してセミナー生が必要性を強く感じている農業の生産技術や関連制度の学習に加え、記帳や経営管理手法の習得を図る。また、先輩農業者との交流、意見交換の場を設定する。

集合研修の他に個別での在宅支援を実施している。個別在宅支援ではプロジェクト学習をとおして、問題点の発見から課題設定及び課題解決手法を習得することで、課題解決能力を身につける。さらに、自らが実践できる営農計画を作成し、セミナー修了後の計画的な営農と就農、定着につなげ、地域を基盤に自らの経営実現を目指す農業者を育成する。

### 3 普及活動の経過

#### (1) 各コース別の集合研修

令和2年度は基本、専門、総合研修各6名のセミナー生で研修を行った。基本は農業の基礎的知識、専門は経営部門毎の専門知識、総合は経営管理能力など応用力の向上を図るため、各コース別の研修を通じて学んだ。



写真1 基本・土壌肥料の  
分析の実習



写真2 専門・セミナー生相互訪問



写真3 総合・指導農業士訪問  
(経営管理)

#### (2) 各コース共通の集合研修

5月29日の開講式及び3コース共通の集合研修は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当セミナーでは初のZOOMでのオンライン配信で開催した(写真4)。

また、10月21日には、農業士・指導農業士などの先輩農業者への視察と意見交換会を開催し、参加者は先輩農業者のほ場を視察(写真5)しながら、仲間づくりや農地確保についての説明を熱心に聞き、意見交換会では参加者同士で情報交換を行うなど、積極的に意見を交わすことができた。

11月11日には意見発表会・プロジェクト計画営農計画中間発表会をリモート方式と対面方式を併用して行った（写真6）。12月16日には労働安全や作業環境の先進地視察研修として茂原市、白子町の農家を視察した。



写真4 開講式のオンライン配信 写真5 指導農業士のほ場視察 写真6 中間発表会

## 4 普及活動の成果

### (1) 令和2年度の開催実績

コース名	主な実施内容	開催回数
基本研修	農業生産の基礎的知識・技術の習得 経営記帳と記帳結果の活用	8
専門研修	GAP、ICT研修 プロジェクト活動の実施支援	4
総合研修	営農計画の策定支援 経営管理支援	5
共通研修	指導農業士・農業士経営訪問研修及び先輩農業者との意見交換 先進事例視察研修会	5

### (2) 成果

研修を通じて、基本生は土壌肥料や農薬等の農業の基礎的知識の習得、専門生はGAP等の経営部門毎の専門知識の習得、総合生は簿記やライフプラン等経営管理能力の向上が図られた。

また、青年農業者の育成に対する意識の高い指導農業士、農業士など先輩農業者からは「これからの地域の農業を担う若い人の話を聞くことができ、こちらにも刺激になって良かった。」等の良い評価をもらうことができた。

## 5 今後の発展方向と課題

今年度開催した研修で出席率の低い研修の内容や実施時期の見直しを行う。また、セミナー生から要望のある「実践的な研修」、「交流の場」といった内容について課内検討し、次年度以降の農業経営体育成セミナーのさらなる充実を図る。

## 6 担当者

南部グループ、中央グループ、北部グループ

## 7 協力機関

木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市  
木更津市農業協同組合、君津市農業協同組合